

令和5年度きみの地域づくり学校座学編第4回実施報告

【日時】2023年8月26日（土）、27日（日）

【場所】美里の湯 かじか荘

【参加者】受講生32名（社会人19名、大学生12名、高校生1名）、

スタッフ14名、運営協議会会員3名、その他（町議会議員等）13名

計62名

【内容】

≪第10講≫

「森林資源の活用方策」

講師：和歌山大学 教授 大浦 由美氏



講義内容

林業の現状やこれまでの林業政策の変遷等について数値等を交えて、わかりやすく説明いただきました。また、森林資源の活用の方向性の1つとしての「自伐（型）林業」について、複数の地域での実践事例を踏まえながら、そのメリットや目指すべき方向性等についてお話しいただきました。

受講生の感想（抜粋）

- ・豊かな森林を未来へ残していくための工夫や様々な実践例を学ぶことができとても興味深く楽しかった（社会人）
- ・森林資源は日本において大きな地域資源のため、地域特性を生かしながら、兼業の形で自伐型林業が今よりも発展していくといいなと思いました（大学生）
- ・小さい頃から成長して大人になっていくまでのライフステージが森林をさらに身近なものにするようで、林業にとって良いんじゃないかと思いました（高校生）

≪第11講≫

「観光、健康、教育分野で創出する『森林サービス産業』」

講師：株式会社さとゆめ シニアコンサルタント 木俣 知大氏



講義内容

幼児期から老年期までライフステージに合わせて、森林空間をサービスとして提供する「森林サービス産業」の観光、健康、教育分野それぞれでの具体的な実践事例についてお話しいただきました。

受講生の感想（抜粋）

- ・関係人口に寄与できるような、より深い継続的な森林との関わりを創り出せるサービスは、まだまだ少ないようにも感じます。信濃町などの先進事例のような、保育や福祉、健康、教育分野での森林サー

ビス産業は、和歌山においても今後発展の可能性が大いにあるように感じました（社会人）

- ・自然を提供する事で大人から子供まで色々な場面で教育ができる事が分かりました（大学生）

≪第12講≫

「林業、きこりのピザ屋 SOMAUD」

講師：株式会社上中林業 取締役

株式会社プラントツリーズ 代表取締役 上中 広幸氏



講義内容

「特殊伐採」や「保安伐採」と呼ばれるお仕事についてのお話や、林業家（きこり）がピザ屋を開業するに至った経緯、そして宿泊業という次なる展開の計画等についてお話いただきました。半林半Xの実践事例として、楽しいこと、好きなことを組み合わせて仕事にしていच्छることや、面白いストーリーで繋がっていること等、実践者ならではの思いや考えを伺うことができました。

受講生の感想（抜粋）

- ・「休みなしでも好きなことをやっているから苦ではない」というお言葉をうかがって素敵な生き方をされているなと思いました（社会人）
- ・半林半XのXには面白いストーリー性が大事ということも今後参考にしていきたい（大学生）
- ・新しく何かをスタートさせるときに、おもしろさと理由を見つけ出してやっていくということが大事だと分かりました（高校生）

【次回のご案内】

第5回『関係人口と地域おこし協力隊』 9月30日（土）・10月1日（日）

30日 13:00～ 第13講義 「地域における『なりわい』創り」

講師：法政大学 教授 関司直也氏

15:00～ 第14講義 「棚田を核とした新たな農村コミュニティの形成」

講師：NPO 法人英田上山棚田団 理事 水柿大地氏

1日 9:00～ 第15講義 「地域の資源を生かす」

講師：くらとくり オーナー／紀州マルイチ農園 北裕子氏

【事務局（担当：藤井）より】

今回は「林業」がテーマであり、紀美野町として「自伐型林業」を推進していることから開催前から注目度が高かったです。各講義では、自伐型林業の意義や林業を兼業として営む「半林半X」の考え方とその実践例、そして森林空間のビジネスでの活用事例をお話いただき、多くの受講生にとって林業や森林を身近に感じるとともに、その重要性や可能性を見直すきっかけとなったことを感じられました。